



「研究資源化プロジェクト」 調査依頼受付中

2017年度実施分

締切：2016年9月30日(金)

京都大学の教育研究に関する資料群を
研究資源として長期的に利用していくために
研究資源アーカイブと研究資源を保有する部局等による
共同プロジェクトを実施しています。

京都大学研究資源アーカイブは、京都大学における教育や研究のプロセスでつくられた資料群を体系的に収集・整理・保存し、「研究資源」として学内外で利用可能にする取組みです。同アーカイブに所属するアーキビストが専門的知見を活かして、この研究資源化をサポートします。なお、資料の受入れには、調査依頼(step1)、受入れ申請(step2)、受入れ審査(step3)が必要となります。

詳しくは裏面をご覧ください

こんなものをお持ちではないですか？



利用例 1
国内外の論文で引用された

利用例 2
講義や講演会で資料写真を見せることができた

利用例 3
出版や展示の問合せを受けた

ウェブで公開されて
研究の足跡を
伝えやすくなった！

デジタル化されて
資料を探しやすくなった！
出典も書きやすい！

これまで接点の
なかった研究分野から
問合せが！

公開後は学内外での利用を促進します

まずは 調査をご依頼ください

研究資源化プロジェクトの申請には事前の調査が必要です。
「研究資源アーカイブ調査依頼書」を以下のwebページからダウンロードし、
必要事項をご記入のうえ電子メールでご提出ください。
<http://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/info/>

調査依頼書のご提出・お問合せ先

京都大学研究資源アーカイブ

E-MAIL: kurra-info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

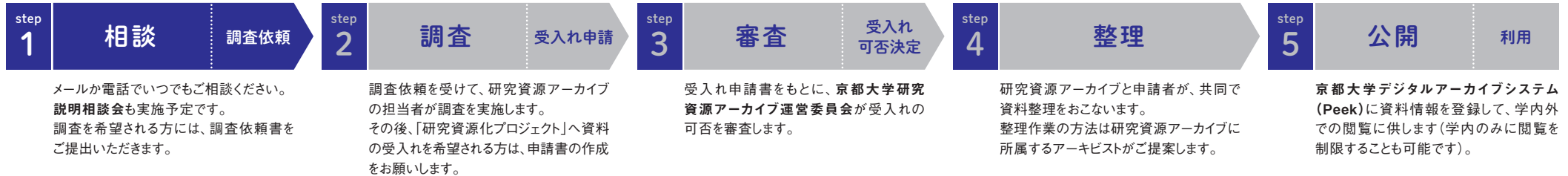
TEL: 075-753-3278 (京都大学総合博物館内 研究資源アーカイブ担当)

調査依頼書
提出締切
9月30日

2016年
10月頃

2017年
2月頃

2017年
4月から



説明相談会 調査から公開までのプロセスをご説明します。
調査依頼書の書き方が不明な方もお越しください。

日時: 2016年9月12日(月) 13:15~14:15
会場: 附属図書館 1階 ラーニング・コモンズ

京都大学研究資源アーカイブ運営委員会 委員 (2016年6月現在)

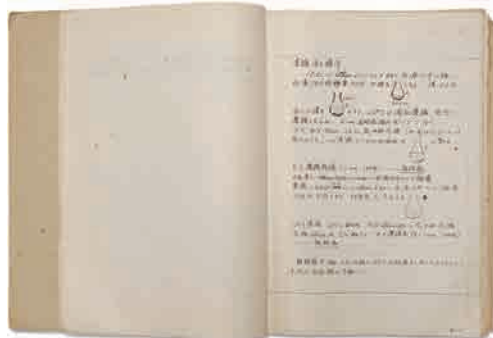
稲葉カヨ (京都大学理事) / 岩崎奈緒子 (総合博物館長) / 中村裕一 (学術情報メディアセンター長) / 引原隆士 (附属図書館長) / 美濃導彦 (情報環境機構長) / 伊藤孝夫 (大学文書館長) / 永益英敏 (総合博物館教授) / 岡部寿男 (学術情報メディアセンター教授) / 平田昌司 (文学研究科長) / 森脇淳 (理学研究科長) / 北村隆行 (工学研究科長) / 太田至 (アジア・アフリカ地域研究研究科長) / 井波陵一 (人文科学研究科長) / 湯本貴和 (霊長類研究所長) / 原正一郎 (地域研究統合情報センター長) / 吉岡崇仁 (フィールド科学教育研究センター長) / 小山房男 (総務部長) / 河原達也 (情報学研究科教授)

- 注意事項**
- ・権利関係 (所有権、著作権、肖像権等) に問題があり、利用の困難が懸念される資料群は、調査の受付をお断りする場合があります。
 - ・資料の受入れ決定後 (step4以降) も、整理や公開に際して資料情報の提供の協力を仰ぐ等、研究資源アーカイブは申請者と共同でプロジェクトに取り組みます。

これまでに公開してきた研究資源アーカイブの例

その他の資料も以下でご覧ください。

京都大学デジタルアーカイブシステム (Peek)
<http://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/about/introduction/search/>



藤原元典「アリチアミンに関する研究」ノートおよび関係資料,
1950-ca.1998.
(資料番号 1)より



京都大学化学研究所「ビニロン」関係資料,
ca.1942-1943.
(化学研究所所蔵, 資料番号 2)より



川村多實二資料,
1902-1964.
(資料番号 3-1-4-9)より



京都大学演習林関係資料,
1928-1986.
(フィールド科学教育研究センター所蔵, 資料番号 台湾天覧アルバム-13)より